

千葉県誕生150周年記念事業 県立学校での取り組み

◆産業系(農業・工業・商業)の県立高校において、地域や企業等と協同した取り組みを推進します

■問い合わせ:教育政策課 ☎043-223-4177

〈農業系高校の取り組み〉

各校で生産、収穫した作物を各種のイベント(JR千葉駅コンコースでの「農業高校生農産物販売会」、ホテルポートプラザちばでの「ホテルで朝市」、千葉県高等学校産業教育フェア)にて150周年記念事業として販売する。

150周年記念事業とコラボしたポスターを制作し、掲示する。

〈工業系高校の取り組み〉

- カウントダウンボードの製作 千葉工業高校の生徒が製作したボードに近隣の保育園の園児が描いたイラストを貼って3月に完成し、県庁1階に設置中。
- 記念品の製作 式典出席者の記念品として、千葉工業高校が文鎮を300個製作する。
- キーホルダーの製作、販売 3Dプリンターを活用して150周年記念ロゴマークのキーホルダーを製作し、イベントにて販売する。
- 100年後の千葉未来会議 千葉工業高校、東総工業高校、茂原樟陽高校の3校が近隣の小中学校の児童生徒と協働し、発表会を行う。



県庁のカウントダウンボード



山崎製パンとのコラボ企画

〈商業系高校の取り組み〉

- 企業と連携した商品開発 山崎製パン株式会社と連携して、ビジネスを学びながら商品開発を行い販売する。
- 課題研究発表の実施 生徒が各校で行った150周年をテーマとした課題研究について発表する。

◆特別支援学校の児童生徒が、作業学習等において千葉県誕生150周年を記念した製品の製作・販売を行うほか、

インターネット上の仮想空間に各学校のブースを設置して、学校の紹介等を実施します。■問い合わせ:特別支援教育課

☎043-223-4230

〈特別支援学校における記念制作事業〉

- 記念品の販売 マグカップやポーチ等の作業製品を販売するほか、学校や地域の特色を生かしたオリジナルの缶バッジを製作し、硬貨を入れて購入するカプセル自販機を活用して販売する予定。

特別支援学校の児童生徒が、千葉県誕生150周年という節目に、本事業の学習に主体的に取り組むことで、郷土に対する関心を深めるとともに、記念品の製作・販売を通じて、地域の方々等との交流を深めることを期待しています。

千葉県学校教育情報化推進計画が策定されました

本県の学校教育の情報化の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るために、千葉県学校教育情報化推進計画を策定しました。

◆子供・教員・学校の目指す姿

学ぶ意欲の向上

日常的にICT機器を活用して学びの質を高めている子供の割合100%



子供

指導力の向上

子供の学びについてICTを活用して改善することができる教員の割合100%



教員

校務の効率化

校務を分析・整理し、ICT活用も含めた教員の働き方改革を推進している学校の割合100%



学校

ICT活用を通して千葉の子供・教員・学校の可能性を引き出す取組

目指す姿

- ◎子供たちの学ぶ意欲と学習成果の向上「学び方改革」
- ◎子供の個性と能力を最大限に引き出す指導力の向上「教え方改革」
- ◎子供と向き合う時間を確保「働き方改革」

学習指導課ICT教育推進室

千葉県 教育情報化推進計画

検索



ICT活用推進のための施策

- (1)ICTを活用した児童生徒の資質・能力の育成
 - ▶県立高校20校に「情報」のデジタル教材を導入
 - ▶高校生対象のマイクラフトを活用したプログラミングコンクールの実施
 - ▶県立高校でのオンラインやICTを活用した学習指導を検討
- (2)教員のICT活用指導力の向上と人材の確保
 - ▶連携協定(Microsoft等)、民間企業、大学等の外部人材の活用による研修
 - ▶好事例の共有と地域間格差解消のためのICT教育担当者連絡協議会の実施
 - ▶県立高校8校にICTを効果的に活用した授業改善の助言等を行う学校 DX推進パートナーを配置
- (3)ICT推進体制の整備と校務の改善
 - ▶クラウドを活用した「学校における働き方改革」の取組の工夫と効果的な活用事例の周知徹底
 - ▶学習履歴などの様々な教育データを可視化し、教育の質の向上及び個別支援につなげる手法を検討
- (4)ICTを活用するための環境の整備
 - ▶県立学校における1人1台端末環境下の学習を継続するため、BYODによる1人1台端末を活用した学びを充実させる

◆児童生徒対象の千葉県マイクラフトコンテストを開催

■問い合わせ:学習指導課 ☎043-223-4178

◎高校生部門 地域の魅力発信等をテーマにした高校生対象の教育版マイクラフトによるプログラミングコンテストを行います。高校生のプログラミングに対する興味を高め、課題解決や論理的思考力を育成します。

■対象 県内に在住又は在学の高校生

■テーマ 「これからも住みたい私たちの千葉」地域の魅力発信や課題を解決する建物や街をマイクラフトで表現。

◎小中学生部門 マイクラフトで道路や橋などの土木構造物を作り、自由な発想や再現性などを評価します。

■対象 主に県内に在住又は在学の小中学生

■内容 複雑な地形に自由に土木構造物を制作したり、県内の橋などを再現することで、建設業の役割を学びます。



公式ホームページ 公式Twitter